



福井県 永平寺町

議会だより

第53号

平成31年2月1日発行



かんばん団体

志比小学校6年生

(※ 最終ページに紹介記事)



2 新年議長挨拶

2 ~ **3** 学校給食の現状

11 ~ **19** **そこが聞きたい!** 議員12人が一般質問

20 ~ **21** **議会と語ろう会** 10月23・24・25日実施
【ダイジェスト版】

永平寺町議会
facebook



永平寺町議会

検索

学校給食の現状

平成25年度から学校給食が無償化になった。議会は、平成26年に給食費無償化事業の検証報告を求めたが、実施期間が1年ということで検証報告には至らなかった。事業実施後5年が経過し、複数の議員から一般質問があったことから経過を含めた現状の報告を求めた。

現状1 平成25年から29年の5年間の転入転出児童生徒数の推移

	未就学児	小学生	中学生	小中学生の転入転出者	0~14才の転入転出者	町民の転入転出者
転入	267	38	24	62	329	2,451
転出	215	34	17	51	266	2,689
増減	52	4	7	11	63	△238

給食費無償化事業が開始以降の5年間で町全体では**238人が転出増、小中学生は11人未就学児を含めると63人の転入増**

現状2 地元産食材の使用割合

年々、安価で安心な地元産食材の使用割合が増加して、**安心安全な給食を提供**

	県内産	内永平寺町産
平成27年度	32%	15.0%
平成28年度	44%	18.0%
平成29年度	50%	23.7%

現状3 給食調理室の設備改善

- ・給排気設備は平成30年度に全ての学校で工事完了
- ・調理員用トイレの洋式化は平成30年度に工事完了
- ・厨房備品は毎年古くなったものから購入して更新
- ・調理員休憩室にクーラーを設置

新年挨拶



永平寺町議会議長

江守

勲



新年明けましておめでとうございませう。皆様には、ご健康にて新年を迎えられましたことと、心からお慶び申し上げます。旧年中は、町議会活動に対し深いご理解とご協力を賜り深く感謝申し上げます。町議会も、昨年7月に改選し14名の議員で新たに構成され、議会の基本理念である「開かれた議会」「行動する議会」「提案する議会」の3本を柱とし、今後も議会活動に専念してまいります。昨年は、福井国体・障スポ大会が開催され、町民の皆様のご協力をいただき、成功裏に終える事が出来ました。国体後も、スポーツ振興や、ボランティア活動の更なる発展に繋がるよう努めてまいります。

今年、松岡公園整備の第2期工事が完了し、供用が開始されます。町民の皆さんの憩いの場として親しまれる公園になるよう期待しております。また、町立在宅訪問診療所が建設され、町の在宅訪問診療の拠点や、地域包括ケアシステムの推進にも寄与していただける施設として、大いに期待されております。県内に目を向けますと2023年度の北陸新幹線の敦賀開業、中部縦貫自動車道の大野〜油坂間の開業を見据え、永平寺町での、ハード面・ソフト面の整備を行い、企業誘致や、観光客の増加が図れるよう、行政と力を合わせ永平寺町の更なる発展に取り組んでまいります。今後とも皆様からのご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

現状4 給食食材費決算額と町一般会計歳出額と食材費割合

	給食食材費の決算金額	町一般会計決算歳出額	食材費の割合
平成25年度	8,405万円	89億1,167万円	0.94%
平成26年度	8,932万円	89億9,718万円	0.99%
平成27年度	8,721万円	103億207万円	0.85%
平成28年度	8,465万円	94億218万円	0.90%
平成29年度	8,206万円	114億759万円	0.76%

給食食材費は5年間ほとんど変化がない。また、町一般会計歳出に占める割合も変動は見られない。

課題

1. 転入生が増加しているのに食材費が増加していないのは何が問題か。転入生以上に出生者数が減少しているため。
2. 夏季の給食調理室の室温は40℃以上になる。調理員の職場環境改善と食品衛生の観点から調理室にクーラーの設置が必要。
3. 給食食材費が永平寺町の一般会計歳出全体に占める割合は現行1%未満であるが、今後地方交付税が減少傾向にある。町財政を見据えた事業継続とすべき。

平成30年第4回定例会での審議内容については、前号(52号)で途中経過をお知らせしましたが、それ以降、10月16日(火)・25日(木)に審議され可決した議案は、下記のとおりです。

第4回定例会議案

議案第64号 平成29年度一般会計及び特別会計の決算認定について	認定	議案第71号 町立診療所(仮称)建築工事の請負契約締結について	可決
議案第65号 平成29年度上水道事業会計の剰余金処分及び決算認定について	認定	議案第72号 平成30年度一般会計補正予算について	可決
議案第66号 平成29年度この国広域事務組合CATV事業会計の決算認定について	認定	議案第73号~75号 損害賠償の額を定めることについて	可決

補正予算審議報告

一般会計10月補正予算
総額 **228**万円

【主な項目】

小学校7校、中学校3校への
防犯カメラ設置工事費

162万円

台風20号の影響による物損
事故3件補償金

66万円

〔平成29年度決算審議〕
主な質疑応答

◆総務課

問 三国線の乗降客は伸びているが勝山線はどうか。永平寺町の乗降人数も前年比で2万人弱減少した。

答 日常の通勤・通学も観光客も減っている。三国線は新駅効果や観光、海水浴客がある。

◆財政課

問 経常的経費(消耗品等)が前年度と比較して節減できているのか。

答 経常経費の中の人件費、扶助費、公債費等の義務的経費についてみると、3600万円の減になっているが、全体では150万円の減となっている。

◆農林課

問 道の駅・れんげの里への補助金が減少しているが。

答 両方とも15%~22%減っている。道の駅は中部縦貫道の開通、大雪で来客数が減った。れんげの里は高齢化に伴って野菜の出荷が減っている関係。

◆商工観光課

問 永平寺門前観光客がジリ貧になっ

ているが。

答 新幹線の金沢駅開業で27年に23%アップした。その後若干減ってきたが、開業前よりは5万人以上上回っている。他の県内主要観光地を見ても、ほぼ同じ割合で減少している。本町では、まちなみ整備事業も完了して、さらなる魅力を発信していく。

◆建設課

問 2月の豪雪で松岡地区の消雪整備で水が出なかったが、その原因は。

答 2カ所あったが、一つは芝原2丁目から神明3丁目の系統。井戸の中の水位感知器が異常をきたして、降雪を感知しても水を汲み取ることができなかった。もう一つは、神明1丁目から薬師1丁目までの系統。降雪を感知するアンテナの周りが全て雪で覆われ、アンテナの周りが熱で溶けて、かまくら状になって、その後の降雪を感知することができなかった。二つとも原因が分かり次第、早急に対応した。

◆上下水道課

問 有収率(料金賦課の基となる水量/総配水量)をどう見るか。この冬の雪の影響は。漏水については。苦情はないのか。

答 冬期間は各家庭でも、消雪に水道



決算審査時の現地視察

水を利用することもあり、道路消雪にも一部水道水を利用してため、配水量は増える。職員が配水池の水位状況を見ながら、取水調整を行い、給水制限にならない対応をしてきた。本管漏水が発生すると広域的な水圧低下が想定されるが、これまでなかった。配水管の老朽による破損は考えにくい。

◆学校教育課

問 いじめの件数が減っているが、どのような対策を行ったのか。

答 「いじめ防止基本方針」を基に各学校が魅力ある学校づくりに力を入れている。いじめの報告や早期発見・早期対応を組織的に心がけている。

◆生涯学習課

問 日本遺産認定を受けることができなかったが、その原因は。

答 落選の主な原因は、持続可能性の脆弱性にあったと思われる。主な構成遺産とした永平寺大工の手による建築物群は、ユニークな発想で期待できたが、結果的にはアピールできなかった。

◆税務課

問 賦課徴収事務費の中の航空写真はいくらか。この写真は他の課でも活用しているのか。

答 850万円。現在税務課以外に、財政課、総合政策課、建設課、農林課等で活用している。

◆住民生活課

問 マイナンバーカードの普及状況は。どうして普及しないのか。不備があるからではないのか。

答 7月末現在で、町は1545件の申請を受けている。率にして8.23%。県平均は8.66%。ここ1年、住基カードの切り替え時に、強くお願いし伸びたが、県の平均に届いていない。福井県は車の免許取得率が非常に高く、個人証明の必要性が他県に比べ低い事情がある。



道の駅 禅の里

◆子育て支援課

問 児童虐待、要保護の意識づけには、もっとPRを徹底しないと。

答 29年度では、11月に人が集まる場所に啓発ポスター、広報永平寺にも記事掲載。5月には啓発用のチラシ配布。会議も代表者会議2回、事務者会議1回を行っている。

◆総合政策課

問 企業立地について、要望があっても進出できないとは。

答 福井北ジャンクションインター周辺の企業進出の動きについては、雨水排水処理の下流域の同意が得られていないため、荒川の改修等、県に要望している。

地デジ121ch 行政チャンネル週間番組表		放送期間 2019年2月8日(金)~2月12日(火)				
時	2月8日(金)	2月9日(土)	2月10日(日)	2月11日(月)	2月12日(火)	時
10	12月3日 第5回定例会 (開会・町長招集あいさつ) 21分	12月10日 一般質問② 中村勘太郎 議員 酒井 秀和 議員	12月11日 一般質問④ 朝井征一郎 議員 川崎 直文 議員	12月11日 一般質問⑥ 金元 直栄 議員	12月13日 補正予算審議①	10
11	ON AIR STAND BY	2時間3分	2時間	1時間21分	1時間36分	11
12						12
21						21
22	12月10日 一般質問① 齋藤 則男 議員 長岡千恵子 議員	12月10日 一般質問③ 酒井 和美 議員	12月11日 一般質問⑤ 上田 誠 議員 松川 正樹 議員	12月12日 一般質問⑦ 滝波登喜男 議員 奥野 正司 議員	12月20日 本会議・補正予算 46分	22
23	1時間51分	1時間30分	2時間20分	2時間30分		23

平成30年 第5回定例会報告

議長 江守 勲

平成30年第5回永平寺町議会定例会は、12月3日（月）から12月20日（木）まで開催されました。審議され可決した議案は、下記のとおりです。

第5回定例会議案

議案第76号 平成30年度一般会計補正予算について	可決	議案第81号 平成30年度農業集落排水事業特別会計補正予算について	可決
議案第77号 平成30年度国民健康保険事業特別会計補正予算について	可決	議案第82号 平成30年度上水道事業会計補正予算について	可決
議案第78号 平成30年度後期高齢者医療特別会計補正予算について	可決	議案第83号 一般職の職員の給与に関する条例および特別職の職員の給与および旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
議案第79号 平成30年度介護保険特別会計補正予算について	可決	請願第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願	不採択
議案第80号 平成30年度下水道事業特別会計補正予算について	可決		

■議案への賛否一覧 議席順に掲載（賛 賛成 反 反対 一欠席 □退席）※議長（江守勲）は採決に加わりません

	松川	上田	中村	金元	滝波	齋藤	奥野	伊藤	長岡	川崎	酒井和	酒井秀	朝井
請願第1号	賛	賛	反	賛	賛	反	反	反	賛	反	反	反	反

※反対または退席があった議案だけ載せています。したがって、その他議案等8件については全員賛成です。

補正予算審議報告

一般会計12月補正予算
総額 **5,997**万円

特別会計補正予算
介護保険歳入歳出 **62**万円 農業集落排水事業歳入歳出 **33**万円 下水道事業歳入歳出 **△227**万円

上水道事業会計補正予算
歳入補正3条 **219**万円 歳出補正3条 **△145**万円 歳出補正4条 **40**万円

【主な項目】

県営道路整備事業町負担金（夫畑松岡線・京善原目線、消雪新設・更新） **1,560**万円

防災無線屋外拡声子局修繕費 **210**万円

上水道事業負担金（消火栓移設） **206**万円

放課後児童クラブ運営委託料（保護者負担金口座振替システム改修他） **122**万円

【歳入】

基金積立金（基金運用益分を基金に積み増し） **907**万円

福井坂井地区広域圏システム障害弁償金 **233**万円

「平成29年度決算審議」指摘事項を踏まえて認定へ

新年度予算（平成31年度）に反映を！

9月10日の現地視察（予算執行状況）からはじまり、10月25日の採決までの46日間の本会議主義（試行）による決算審議は、福井国体や障害者スポーツ大会の諸行事もあり長くなりました。議会では決算審議結果を、各課毎に指摘事項を抽出し、行政に回答を求めさらに検討を重ね「決算認定に係る提言」として提出しました。

決算認定に係る提言

1. 現状のパブリックコメントだけでは、町民の意見収集が十分に出来ていないため、パブリックコメント以外の手段も考え、民意吸収に努めること。
2. コミュニティバスの利用促進は、利用弱者の利便性の向上など町民の利用者数を増やすべき取り組みを行うこと。
3. 空き家等の対策については、調査データを基に空き家情報バンクへの登録を促進し、利活用を図ること。また、近隣住民の立場に立って、随時、空き家等対策検討委員会を開催し、補助対象空き家とするかどうかの判断を急ぐこと。
4. 自動走行実証実験について、今後の実用化に向けた事業の方向性を示し、町民にその内容を周知するように。
5. 宅地造成候補地選定調査業務で選定した候補地について、その中でも人口の少ない地域においては、小規模宅地事業を行政が行うべき。
6. 一般廃棄物等のごみの減量化については、事業者施設での回収のPRや啓発のみならず具体策をたて取り組むこと。
7. 健康福祉施設の指定管理に関して、事業報告における本部経費の根拠を示すこと。
8. 教育奨励金、就学援助の支給時期等については、他の自治体の事例を学び研究し、今後、本町においても前向きに対処すること。
9. 公民館利用者数の減少について、その原因と課題を分析し、新しい発想も組み入れ、幅広い世代が活用できる公民館活動に取り組んでほしい。

請願第1号

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願について

賛成討論

金元 直栄

賛成討論

上田 誠

消費税は最大の不公平税制だ。大企業は消費税を1円も払わない。消費者にとっては実質収入の引き下げだ。今回の引き上げ、農家にとって肥料等の生産資材は10%だが、米や野菜の販売は8%と支出増となる。国の消費税対策も、カード決済等、中小業者や高齢者にとって不公平になっている。よって消費税増税中止の本請願には賛成だ。

今や国民の暮らしや地域経済は大変深刻な状況である。具体的理由は、①10%の引き上げは国民の60%以上が反対している。②同実施の「軽減税率」も複雑であり、消費者や中小企業にとって不公平であり、高齢者や所得の少ない人ほど負担が大きい。③過去の引き上げ時でも経済への影響や充当が不明瞭であり、目的に反する。よって今回の引き上げの中止を求める。

反対討論

酒井 秀和

賛成討論

滝波登喜男

日本が抱える少子高齢化、超高齢化社会を鑑みると、現状の生活以上に将来の負担は大きくなる。消費税増税は、平成31年10月1日より施行される予定と決定している。また、インボイス制度懸念や、軽減税率問題視等、趣旨と内容に食い違いがある。以上から本請願は実現の可能性がなく、願意の妥当性に欠けている。よってこの請願に反対。

本町の財政支出の中の社会保障費は、年々増大している。消費税10%となった場合、どれくらい町の収入増となるのか。また、様々な支援や特別措置で町の支出や事務量の増大が見込まれる。よってこの請願に賛成。



請願第1号 国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願

総務産業建設常任委員会

委員長 中村勲太郎

本委員会は12月14日に全委員出席のもと開催し、総務・産建関係の今議会に付託された案件について慎重に審議した。

る税制の用途であることを検証していくことが重要だ。採決の結果、否決多数により不採択とした。

請願第1号

国に対し「消費税増税中止を求める意見書」の提出を求める請願について

○団体との意見交換

請願第1号についての意見書の趣旨は、社会保障費負担増、賃金低下、物価上昇等における税の負担や、「軽減減税率」更には「インボイス制度」等に係る問題があるとして、意見書を求める内容を確認したが、社会保障制度のための増税と解するが、この意見書の中には、不公平税制を正すべき等々意見の趣旨がいまいちであることを確認する。今回税率10%の増税であるが、前回8%増税時のショックより、政府に対してこれまで以上の効果ある税金の使途を期待する。

漁業協同組合の現状と問題点について、漁協の幹部から説明を受け、情報の共有化を図った。今後機会を見て意見交換を行う。



エバ漁

○行政案件

また、県内ほとんどの自治体もこの意見書について採択されていない。今後、この増税が、国民にとって有益な効果あ

自動走行実証実験の住民にわかりやすい説明の内容の確認。30豪雪、除雪体制の強化の取り組み内容および、対応についての確認と住民への周知徹底を行った。

幼稚園・幼児園再編審議会の現状報告

教育民生常任委員会

委員長 上田 誠

12月14日（金）全員参加にて開催し、次の内容を協議した。

- ① 幼稚園・幼児園の再編審議会の状況について
 - ・望ましい姿、適切な人数、財政面等、統廃合ありきの論議にならないように
- ② 国保税率改定の内容と方向性について
 - ・2ヶ年で1万円（年間5千円）の増額
 - ・変動対応可能な6千万円の基金のお願い
 - ・税率の割合の変更（県統一に向けて資産割の軽減）を進めるべき
- ③ 町立診療所の設立経過について
 - ・地域包括ケアの要となる各地区での説明会を開催し、協力体制の確立を
- ④ 町民の健康づくり活動の現状について
 - ・全町で健康やフレイル予防の運動と、医療・介護を包括した取り組みを
- ⑤ 禅の里温泉の交渉内容について
 - ・事業管理（本部費）の算出検討と指定管理見直しを
- ⑥ 給食無償化の現状と分析と報告について
 - ・事業評価だけでなく多方面から検証
- ⑦ 地域づくりの現状と方向性について
 - ・拠点づくりとして計画性を持って推進

議会改革特別委員会報告

委員長 滝波登喜男

当委員会は11月28日全委員出席のもと開会した。5項目の課題について、プロジェクトチームの担当者が調査した内容を発表し協議した。

1 議員報酬について

議員報酬の算出について、北海道大学の研究報告に基づき『議員報酬=議員活動日数×1日あたりの基準報酬額』の算出式で試算してみた。委員からは考え方は理解できるとの意見が出された。

2 政務活動費について

北海道栗山町議会の取り組みを紹介し協議した。委員からは、この政活費に対しては厳しい住民感情があるので、慎重に協議する必要がある。

3 本会議主義について

試行期間である本会議主義について、全議員からの評価をもとに協議した。予算や決算の審議は委員会で行うなど、両方の良い点を取り入れて行なってはどうか。

4 議会の電子化について

越前市議会の電子化の視察報告を受け質疑した。

5 通年議会について

資料に基づき、導入の目的、方法、効果と課題について学んだ。もっと議論が必要との意見が出された。

12月
定例会
一般質問

問&答 そこが聞きたい!

12名の議員が町政全般について、一般質問を行いました。
一般質問は議事録に基づき質問議員本人がまとめています。

一般質問：目次

齋藤 則男 … 11P	川崎 直文 … 15P
長岡千恵子 … 12P	上田 誠 … 16P
中村勘太郎 … 12P	松川 正樹 … 16P
酒井 秀和 … 13P	金元 直栄 … 17P
酒井 和美 … 14P	滝波登喜男 … 18P
朝井征一郎 … 14P	奥野 正司 … 18P

問 除雪体制は万全か

答 安定した除雪体制を確保する



齋藤 則男 議員

建設課長 建設課に除雪対策室を置き、各支所に基地として除雪実施部を設置する。
除雪車オペレーター



豪雪時の除雪作業

問 今年2月の豪雪、その経験を生かした雪害対策は万全であるか。除雪車のオペレーターの確保は十分にされているのか。

の高齢化等により、困難ではあるが、広報等で受託業者がオペレーターを募集し、安定した除雪体制を確保できるように強く思っている。

◆学校給食の指導は正しいのか

問 食事に時間がかかる遅い子に対し、その指導等は、どのようにされているのか。分量を減らしているとのこと、国の方針か、県か、あるいは町独自のものが、分量を減らしても食べきれない子に対する対応は。また、好き嫌い、偏食がある子への指導等はどのようなにされているのか。

学校教育課長 個の対応をしていることで、残食はほぼゼロとなっている。

学校教育課長 分量・時間の指導については、個（個人）の対応をしている。
問 給食は、子どもたちにとって一つの楽しい時間。おなか一杯に



視察レポート

行政と商工会との関わり

平成30年11月14日(水) 和歌山県伊都郡高野町



高野町は、まちの敷地全体が高野山の所有で、特に寺内・寺外があつてほとんどが寺内の領域の中で町行政も存在し、商店街や一般の方の建物の増改築等においても景観等を重んじ高野山の許可が必要とのこと。高野山独自の町づくりを感じた。

また、寺院をはじめ各店舗の改修費に補助があるが、地元業者に発注することとなっているほか、店舗売り上げの18%を町へ納めるシステムであった。

ボランティアガイドの取り組み等について 平成30年11月15日(木) 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺

斑鳩町観光協会の指導協力を得て、しっかりした観光ボランティアガイドのマニュアルに取り組み、随時更新している状況。県内外からガイド者を募集し、多くの会員が入会し、入会研修やガイドマナー等を会員や外部講師を依頼し積極的に取り組まれていた。今後は、少しずつであるが「ボランティアガイドの会」として独立していくよう前向きな組織活動が見受けられ、午後のボランティアガイドの実体験では、自らが楽しみ誇りを持って活動している姿勢が好感を持たれた。

(総務産業建設常任委員会 委員長 中村 記)



平成30年11月14日・15日に島根県飯南町の中山間地域研究センターと町立飯南病院へ行政視察を行った。

住民自治活動について 島根県中山間地域研究センター

小さな拠点づくりと地域コミュニケーション・公民館活動

日本や本町が近い将来直面する課題に向き合うための住民自治小さな拠点づくり＝持続可能な地域運営の仕組みづくりの実践を支援するものであった。今後の永平寺町の各公民館（小学校区）エリアの組織運営のあり方を示唆するものであった。行政や地域に働きかけていくことを再認識した視察であり、行動していく指針となった。



まちづくりと地域医療 町立飯南病院

健康づくり・地域包括ケアと病院・診療所

視察から、飯南病院は町行政の組織＝地域包括ケア推進局として位置づけされており、地域包括ケア＝地域づくりであり、とりもなおさず住民生活＝小さな拠点＝地域包括ケアとして、町運営の大きな柱であり、中心に据えている。また、推進局は町民の暮らしの継続のための重要な働きをし、医療・介護・住まい・福祉・教育・働く場として一貫性をもって対応している。平成31年夏、開設予定の永平寺町立診療所も、今後の町行政の地域包括ケアの大きな役割として機能するよう、活動を重視するものとなった。

(教育民生常任委員会 委員長 上田 記)

問 町民を意識した働き方改革を

答 効率化と仕組みを作りあげる



酒井 秀和 議員

問 行政が行っている働き方改革の現状は。その検証結果と今後。

答 総務課長 7月にテレワークを試験的に行った。報告では業務に集中できたが、業務に必要な情報が得られないという課題もあった。

問 職員の公休管理、労働時間管理、予実管理は適正に行われているか。

答 総務課長 休暇（取れない代休）は今年度も42%となっている。所属長に指導し、職員には指示をしたい。

問 上長との意思疎通、個々の責任と役割の把握報告・連絡・相談・確認はできているか。

答 総務課長 個々の責任と役割の把握、報告・連絡・相談等は常時行

っている。年度初めの人事評価における業務の目標設定、その中で各自・各担当が目標を立てている。

町長 今ポトムアップの仕組みを作っている。報連相という言葉があるが、実は上の者が確認と指示を出さない限り報連相はない。ポトムアップにすることで報連相がある。今後仕事も多様化、高度化し難しくなる。これを乗り切るためにも効率化という仕組みや体制を作りあげる必要があると感じている。



整備された観光案内所と参道

問 【その他の質問】前まちなみ整備事業の参道と案内所が完了したが観光客が参道を歩いている。今一度PRを。何らかの仕掛けをしていきたい。

問 永の里の現状と今後の予定は。

答 10月から造成工事に入っている。32年4月に東エリア一部開業を予定。

問 児童クラブ料金の支払い方拡大を

答 31年4月から口座振替にしたい



長岡千恵子 議員

問 現時点での放課後児童クラブの利用者数は。30年4月から開設した土曜日の放課後児童クラブの利用登録者数は。

答 子育て支援課長 現時点での登録者数は375人で、土曜の登録者は11人。

問 放課後児童クラブの保護者負担金の納入方法で、昨年度までは児童クラブの指導員が集金していたが、30年4月から納付書による会計課もしくは銀行の窓口で支払うようになったが、変更理由は。

答 子育て支援課長



放課後児童クラブの一場面

昨年度まではクラブに登録をしていますが、その月に一度も利用しなかった児童からは料金を徴収していません。クラブ運営に支障が出た。2点目は、保護者の持参日がまちまちだったり、子どもに持たせたりということがあり、危険ということに変更した。

問 納付書で納入することの不都合性は考えなかったのか。

答 子育て支援課長 四半期ごとに3カ月分の納入で、一度の納付額が高額になる。役場や銀

問 福井国体遺産どう生かすのか

答 社会スポーツや地域サロン活動に生かす



中村勘太郎 議員



国体少年女子バスケットボール試合(松岡中)

問 国体競技を支えた町民ボランティアの方々の協力・ご支援は町の財産。この財産を今後どのように町づくりに生かすのか。

答 各関係課長 小中学生および一般者や身障者等、全体の社会スポーツや地域サロンの活動支援。高齢者の介護予

防活動や生活支援体制事業、また、町花の会「はびねすフラワー」等に取組む各ボランティアの方々の発展に、後方支援として関係課と連携し取組む。

教育長 日本リーグに所属している北電ハンドボールだが、町内中学校にはハンドボール部がない。これを機に意欲的にスポーツ教室等開催し、課題克服しながらスポーツに親しむ町になればと思う。

◆松岡公園来春完成！にぎわい創設は

問 新しく整備された公園。町民は待ち望んでいる。沢山の町民の記憶に残るような、また、四季折々持続して楽しめる企画を望むが。

建設課長 今後の活用として、桜

行の窓口は時間が限られているので不便をかけた。

問 保護者が支払いやすい方法に改善できないのか。

答 子育て支援課長 31年

4月から口座振替化をしたいと準備を進めている。

問 【その他の質問】空き家バンクへの登録推進を

答 重点的に所有者に働きかけをする

問 給食費無償化事業の見直しを

答 いろいろな角度で検証しながら、事業を継続

の名所、憩いの空間、歴史を感じる公園として、町内外多くの方々を利用して頂きたい。イベントとしては、花見シーズンにはライトアップや、えい坊館と

タイアップし道の駅で開催された秋浪漫のようなものを公園版で行いたい。また、桜の植樹イベントも関係者と検討し、にぎわい創設をしたい。

商工観光課長 えい坊館との企画として活用できるように、観光物産協会とも協議したい。また、古墳文化財産等の活用を含め生涯学習課とも連携し進める。

問 「空家等対策計画」の策定を急ぐ

答 2019年度に計画を策定する

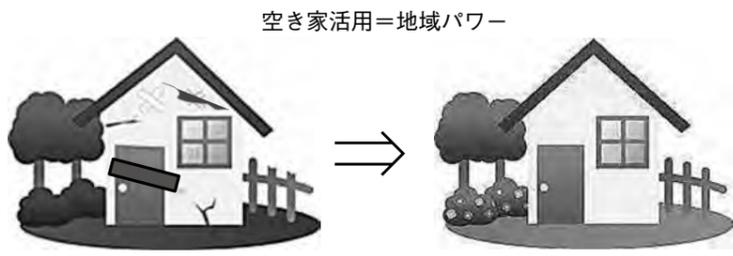


川崎 直文 議員

問 「空家等対策計画」の位置づけ、内容、補助事業は、建設課長 空家等対策の推進に関する特別措置法第6条により、市町村は「空家等対策計画」を定めることができる。第2次総合振興計画、まち・ひと・しごと創生総合戦略等と整合性を取り策定する。

答 この計画により、空き家の活用、除却を含めた空き家等に関する対策を総合的、計画的に実施する。この計画に基づく補助対象は、空き家等の活用（地域活性化に資する滞在体験施設、交流施設等の用途へ供する）除却した跡地の活用（跡地をポケットパークとして利用する等）の事業。

問 早く計画を策定



空き家活用＝地域パワー

【その他の質問】
問 町創生総合戦略で、コミュニティバス利用者の今年度の目標は4万2千人。達成状況は。

答 約3万3千人の見込みで未達。今後、デマンド方式さらに自動走行、Maas（自動車、自転車、バス、電車等を単なる移動手段でなく一つのサービスとし、シームレスにつながる新たな移動の概念）等の新しい移動体系を検討する。

問 永平寺町の文化財について

答 軽視はしていない。リセットする



酒井 和美 議員

問 今春、四季の森文化館が用途変更のため閉館となった。地下収蔵庫が整頓されていない。所蔵品目録は整備されているか。

答 生涯学習課長 台帳作成している。展示品分が仮置き状態。整理後、台帳をもとに収蔵品確認する。
町長 今年度から史料をデータベース化する予定。
問 四季の森の収益性が悪かったなら、文化振興協議会、文化財保護委員会、社会教育委員会等で協議し改善すべき。協議はあ



IOT 推進ラボに変更になった四季の森文化館

問 学芸員は様々な能力を求められる。本町では古代・中世・近世、発掘・古文書・展示に精通した研究員が必要。最低3人は必要では。バランスよい人材確保や、業務に専念できる労働環境ができていたか。

答 生涯学習課長 現在調査がないので一人で十分。必要に応じ外部への協力依頼を検討。本来数名が理想。学芸員に専門外の仕事もさせ

つたか。
教育長 今後は各委員会と連携をとり、しっかり取り組む。

問 上志比支所新築工事について

答 上志比支所の横に防災の拠点を



朝井 征一郎 議員

問 上志比地域の活性化、社会情勢の変化に伴い、30年後のことを考えて、地域の住民に親しまれて愛される支所、町民の安心安全につながる施設の改善、活力ある町づくりを目指して頂きたい。サンサンホールにある図書館を支所に併設して欲しい。図書館は高齢者から子どもまで全ての町民が利用し、本の魅力を伝える所である。町づくりや地域振興を目的とし、明るい町、笑顔のある町、住みたい町を。支所は上志比地域の中心であ



取り壊される予定の上志比支所

問 上志比地域の活性化、社会情勢の変化に伴い、30年後のことを考えて、地域の住民に親しまれて愛される支所、町民の安心安全につながる施設の改善、活力ある町づくりを目指して頂きたい。上志比支所の建設については、上志比地区振興連絡協議会から要望書が提出され、検討している中で、図書館建設について、文教施設は旭

答 町長 要望の中で、図書館の併設は振興センターにも災害時は避難所と

てきた。負担に配慮したい。
問 豊富な歴史資源が永平寺町の観光の強み。31年春、文化財保護法が改正される。その趣旨は、文化財の減

失が緊急課題であり、未指定を含めた文化財をまちづくりの生かし、地域社会総がかりで継承に取り組むことが必要とある。その予定は。近年の古墳女子

ブームへの対応は。
生涯学習課長 今後、町民の思いを大切にしたい企画を検討。ブームについては商工観光課と連携し観光の活性化に貢献したい。

ヶ丘台地に集中している。図書館の利便性、利用者数などを考えると、併設の計画はない。
町長 要望の中で、図書館の併設は振興セン

ターに図書、雑誌とかが気軽に子どもたちが勉強できるスペースや、高齢者が立ち寄れる場所を設定する。振興センターも災害時は避難所と

して位置づける。防災の拠点施設要望も、支所建設後、防災車庫、消防団の詰所を建設し防災の拠点として強化する。

し、2020年度に、補助事業を進めるべき。策定の日程は。建設課長 法第7条に基づく協議会を立ち上げ、第1回目の協議会を来年6月までに開催し、12月までに案を作成する。パブリックコメントを実施し201

9年度には策定する。補助事業は、計画策定段階で、要望を行うの交付を受けられるように進める。

問 学校の給食室等へのクーラー設置は

答 前向きに検討する



金元 直栄 議員

問 国補正予算で、災害対策と共に公立小中等のエアコン設置費がついた。今夏の気温を災害並みとの位置付けだが、学校の中で一番熱い給食室では体調不良者も出ている。エアコンの整備計画はどうか。



おいしい学校給食

答 国補正予算で、災害対策と共に公立小中等のエアコン設置費がついた。今夏の気温を災害並みとの位置付けだが、学校の中で一番熱い給食室では体調不良者も出ている。エアコンの整備計画はどうか。

の2回以後の助成制度の復活を。
福祉保健課長 国の結論を待って検討。
◆志比南公民館での味噌づくり中止

問 好評だった味噌づくりが中止に。地域での高齢者との世代間交流や集まりで、公民館活動の一環であった。地域づくりの拠点となる事業なの

に。
農林課長 40年前の古い機械で故障したため中止とした。
町長 地域交流の拠点として生涯学習の一環として考えていく。

問 地域と進める体験活動の検証を

答 特色ある学校づくりとして継続



上田 誠 議員

問 学校教育は学力、体力の向上と社会参加による社会適応、郷土愛着、自分の居場所づくりにある。3年計画の活動を検証評価し方向性を示すべき。
学校教育長 県の補助事業で、体験学習を通して郷土の誇りや愛着を持つ人材育成を目的とする。

問 小中で地域との関わりが違ふ。小学では愛着心やすばらしさの再発見。中学では能動的に参画し社会交流やコミュニケーション、居場所づくりが必要。
教育長 補助事業が終了してもこの事業目的を引き継ぎ、特色ある

学校づくり推進事業で実践する。
◆CATV料金の減免制度継続を
問 町は来年から減免制度の廃止を示した。移譲後一年間は継続し、その次は行政が考えるという条件であった。対象者は生活困窮者であり、廃止となるとテレビが見れなくなる。約束通り対応が必要ではないか。
町長 対象者に対し、滞納相談室や福祉面から対応について庁内全体で検討する。

◆風疹対策の先行と予防接種助成充実
問 風疹対策は国も方針を表明。当町も先行して実施を。
福祉保健課長 定期接種の方針。町として無料抗体検査やワクチン接種案内を強くする。
問 肺炎球菌ワクチン

問 松岡駅周辺にも駐車場を

答 再度調査し、協議の場を持つ



松川 正樹 議員

問 35年前より松岡駅周辺にも駐車場をと言いつつ、なかなか進まない。近頃の40坪の町有地も眠ったまま。観音町、永平寺口、山王、竹原、小舟渡駅に完備され、主要駅で無いのは松岡駅だけ。不公平過ぎる。未来会議での町側の答弁は、いずれも前向きだった。鉄道の交通機関としての力以外にも、鉄道を利用することの意義はたくさんある。また、住みやすいまちづくりのためには、過



えちぜん鉄道松岡駅

度に車に依存した社会から脱却し、人間の行動の基本である歩く視点から生活を見直すべきという時代に入っている。鉄道と歩くことの組み合わせだ。そのためにも駐車場が不可欠である。
総務課長 現場は2軒店舗もなく、空き地も増えた。課題をもう1回整理して、近々関係者のえちぜん鉄道、地権者の方と再度協議の場を持ちたいと考えている。
町長 28年に現場視察を色々な関係者とともに何とかここを利用できないかという思いでした。再度調査をしていく。

【その他の質問】
問 町主導型の宅地化を急げ
答 空き地の有効利用や民間による土地利用促進が有効
問 えい坊館に何を求めたのか

答 町の歴史、文化、食、町並みを発信する施設として活用・発展させる
問 学校給食無償化の見直しを
答 有効なので続ける
問 マルトリートメン

ト(不適切な養育)とは
答 いろいろな方法で育児の相談にのっている

◆避難所への毛布配備と活用を

問 町としての方向性を示し、本町は豪雨や台風に加え、避難所を開設してきた。ところが、避難所へ行くときも毛布もなかったという。備蓄してあるのだから活用し、避難してきた人たちに安心感を与えられる場所にすべきだ。
総務課長 町では指定した避難所の施設内に毛布・水・食糧の備蓄をしている。今後は対応の職員に毛布等のあることを再確認する。

◆幼稚園等の適正配置の検討

問 町は園の長寿命化計画を進めていたが、子らのためにとの口実で園の適正規模・配置が必要とし、園施設の再編を行うと言いつつ、本町の幼児保育に問題があるから正すというのならまだしも、これまでの本町の保育政策の評価も示さず、園の統廃合とは飛躍しすぎだ。
子育て支援課長 再編の検討は町改革大綱で方向性を示すとしてきた。施設の老朽化や園児数のアンバランスも

あり、計画通り進めている。
問 これからの厳しい世を生き抜くため、集団生活や切磋琢磨が必要で、園の適正規模が。というが、幼児保育はストレスのない、のびのび保育ではないのか。
子育て支援課長 本町の、のびのび保育は現在も進んでいる。しかし社会の変化に合わせて幼児教育をより充実するための検討だ。



滝波登喜男 議員

問 町立診療所の役割は

答 運営協議会で多職種連携



起工式

島根県飯南町に町立病院の視察に行った。その病院の役割に「地域包括ケアシステムの構築のため、地域包括ケア推進局を設置し、他の分野（保健・介護・福祉）と連携強化、在宅医療の積極的関与に努める」とある。また、この推進局の実行力を高めるため、役場組織の中に大きく位置づけられている。本町の診療所の役割とその位置づけは、福祉保健課長 町立診療所の役割は、外来医療・在宅医療・多職種連携である。そのため、福井大学を指定管理者に指定する予定。また、町内の医療・介護・福祉の関係者で構成する運営協議会を設置し、個別ケアから町の方針などを協議する。その協議を診療所が中心となって行なっていく。

◆危険空き家は町の責

10月の「議会と語る会」で、危険な空き家のある地区住民から「所有者が管理責任を負わないなら、住民の安全は誰が責任を負うのか」という意見が出た。特措法で町が危険空き家の除去を代行できる。また、所有者不明な土地の所有権を町が取得できるようにもなった。公園や広場に活用。貸し農園や移住者への売却など



奥野 正司 議員

問 地域の拠点を結ぶえち鉄駅の整備

答 志比堺緩斜面化案、観音町軽自6台増

自動運転の実用化で、地区と地区が自動車で行き交われば地域の小さな拠点迄の移動サービスが利用出来ても、買物・通院・通学等、地域拠点と地域拠点を結ぶ地域公共交通機関は本町の場合はいち鉄と考える。駅については、これまでも町民の改善要望を何人もの議員が行政に届けてきた。観音町駅・利用者が県下20位の福鉄神明駅（658人/日）と並ぶが、常時満車の駐車場・駐輪場と男女共用和式トイレ。松岡駅・福鉄越前武生駅（477人/日）に迫るが、車イス締出

路線	区間	乗車人員	降車人員	乗降人員	乗車人員	降車人員	乗降人員
1 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
2 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
3 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
4 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
5 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
6 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
7 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
8 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
9 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
10 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
11 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
12 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
13 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
14 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
15 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
16 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
17 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
18 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
19 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
20 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
21 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
22 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
23 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
24 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
25 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
26 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
27 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
28 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579
29 山形線	山形～新庄	1,234	1,123	2,357	1,345	1,234	2,579
	新庄～山形	1,123	1,234	2,357	1,234	1,345	2,579
30 山形線	山形～新庄	1,345	1,234	2,579	1,234	1,345	2,579
	新庄～山形	1,234	1,345	2,579	1,345	1,234	2,579

のしりホーム、狭隘な駐輪場とトイレ、駐車場無し。志比堺駅・利用者40人の福鉄スポート公園駅に並ぶが、トイレ・駐輪場無し。あるのはホームに上がる高齢者・障がい者を含む断崖絶壁階段。3駅について行政は事業者は町民の声を届け、対応を検討すると答弁されて来た。現在の進捗は。総務課長 志比堺駅はえち鉄より、緩勾配の新たな昇降階段設置案が出ており検討急ぐ。

で、危険な空き家除却費用を捻出し、積極的に実行、町民の安全を守るべき。町長 鋭意努力している。財産権に守られ、特措法で代執行するに

も時間と労力がかかる。所有者不明、相続放棄、抵当権設定など非常に複雑である。法律や建物の専門家で構成する「空き家等対策検討委員会」で協議し

ている。

【その他の質問】 中山間地域の課題を住民自ら解決する組織づくりを 答 住民が参画できる仕組みをつくらなければ

松岡駅福井行ホームは2年前、未来会議の提案を現地検討するも不採用。視点を考え再協議する。観音町駅は同駅西方向に、軽自5、6台分の駐車場増設。

【その他の質問】 問 今回の自動運転実証実験の地域経済効果は 答 まちづくり会社が3千万で受託し、町内に雇用等約7百万の経済効果があっ

【その他の質問】 問 空き家情報バンクの移住定住支援センター化は 答 空き地を含めたバンク検討。定住支援センターは民間連携で考えたい

傍聴にお越しく下さい

生中継

3月定例会 (予定)

2月 25日 (月) 10時～ [本会議]

3月 4日 (月) 5日 (火) 6日 (水) 10時～ [一般質問]

3月 7日 (木) 8日 (金) 11日 (月)

12日 (火) 14日 (木) 15日 (金) 9時～ [補正・当初予算審議]

3月 19日 (火) 10時～ [本会議]

3月 20日 (水) [予備日]

○日程は、都合により変更になる場合がありますので、ご了承ください。
○会議は傍聴することができます。役場本庁西側の階段を上がって、3階議場傍聴席にお越しください。 ★エレベーター完備

議会だよりを飾る

募集中!!



町の活力!

かんばん団体

対象：小中学生が活躍する団体および部活動

内容：表紙写真と裏表紙活動レポート

※詳しくは永平寺町議会事務局までお問い合わせください。
永平寺町議会事務局 TEL:61-3950

《町の空き家の現状について》

意見 町が空き家をリノベーションして貸せば良いのでは。補助条件の大幅な積み増しやPRに努め、敷居を低くして永平寺町に来たいという気持ちにすることが大切。

【葵1丁目会館】

行政 空き家については、あくまで民間所有物であるということを前提とし、現在は町が空き家を取得したり、町が改修して貸し出すことは考えていない。寄附の申し出を受けた空き家についても、町による明確な利用の計画があるものに限り受けてきた。

空き家利活用希望の問い合わせには、空き家等情報バンクの物件を紹介している。平成31年度はバンク登録物件数を増加させるため、空き家等の所有者に対し、バンク制度の周知と利活用に提供する意向の調査を予定。

問 不動産物件の空き家が老朽化しており、危険となり困ったときに町は対応してくれるのか。【西野中集落生活改善センター】

議会 総務課生活安全室に区長を通じて要望をあげて欲しい。空き家対策検討委員会にかけて判定する。費用の1/3で上限50万円の補助。昨年度の実績で町は3件あり、うち1件は解体費用が120万円で補助が40万円。ただH29年度でD判定（腐朽して危険）が31件ある。連絡がつかない場合や、所有者が特定できないこともあり、地権者と連絡が取れたものに限りH30年度は3件の解体実績。解体のみでの補助はないため（解体撤去が必須）そのままになってるものもある。

意見 一人暮らしの年金暮らしは、空き家解体補助50万で始末が出来るわけがない。所有関係者が管理責任を負わないなら、住民の生活安全から誰が責任を負うか。行政が積極的に対象者に働きかけても、お金がないので対応できない状況なら行政責任で対応するしかないのでは。【上合月集落生活改善センター】

行政 基本的に財産権、相続権等の権利問題により、行政責任で対応できない状況。町の空き家解体補助は、倒壊等により町民に重大な被害が想定される空き家の権利者に対して、自らが行う解体費用について上限50万円を補助。また、行政責任で代執行による解体等を行なっても、解体費用を所有者等に請求することになっていることから、一人暮らしや経済



ダイジェスト版

議会と語り合

(※ 質疑内容抜粋)

町内9会場で開催し、3日間で延べ111人の方が会場に足を運んでくださいました。

町民からの質問・要望等への回答 平成30年10月23日24日25日 実施

「町の空き家の現状について」

的な理由で、行政責任での対応ということとはできない状況。

問 空き家敷地内の樹木が倒れて車庫を壊したことがあった。敷地内の樹木を切してほしいがどの様にしたら良いのか？また、野生動物も住みついている。個人情報関係で所有者も特定できず困っている。連絡先の情報を開示してもらうことは出来ないのか。

【飯島集落生活改善センター】

行政 敷地内の樹木については、敷地等所有者の管理責任下にある。車庫を含めた建物等があるなら、空き家として登録（建設課）して頂きたい。所有者の特定について不明なら、行政でも調査は可能なので、空き家等の所在地の連絡をお願いしたい。所有者が特定できても情報開示することはできないが、所有者等への空き家管理への指導は行なう。ただし、行政の調査でも所有者等が分からないこともあるので、その点は理解頂きたい。

意見 空き家を解体するにも、業者によって値段にばらつきがある。業者一覧やマニュアル等を示してくれるなど、空き家問題対応の行政の総合窓口の対応は出来ないか。

【京善多目的集会所センター】



行政 解体業者等について、相談があれば業者（複数）の紹介をしている。複数の業者にて、見積りを取り、適正価格を見極めて業者選定をお願いしたい。空き家等の利活用相談窓口は建設課。廃屋等空き家の状況によっては、総務課生活安全室が窓口となる。

意見 財産を放棄した場合、国の管理として代執行を行い、関係者に支払ってもらうのがよいのでは。【えい坊館】

議会 特措法の制度で、相続の個人情報も共有でき、連絡が取れるようになったが迅速には行かず大変。代執行もあるが、後の対応が難しく、代執行後裁判になっても関係者から支払われないこともある。

問 人が来ているような体験をしてもらう等、交流人口を増やすことが必要でないのか。

【せせらぎふれあい会館】

議会 町は空き家の利活用で居住だけでなく、事業活用タイプの利活用を進める。滞在体験、体験学習、交流施設、創作活動文化施設等の事業への活用補助制度の要件とされる「空き家対策計画」を策定し、2020年の制度化を目指している。

意見 空き家バンクに登録してもらっただけでなく、売りに歩く販売の手だてが必要。民間や外部の力をかりて対応を。

【下浄法寺ふれあい会館】

議会 行政は宣伝などはしないので、民間の業者やそのルートを進めるよう求めている。平成32年度から空き家を利用した商業等の事業に対しても補助が出る。



《その他》

要望 県道稲津松岡線のぞおう荘前交差点の道が狭く見通しが悪い。通行車両がスピードを出す所で危険。通行車両にスピードを落とさせる減速対策を講じて欲しい。

【西野中集落生活改善センター】

行政 ハード面での対応で、速度注意喚起の標識や路面標示などの減速対策を道路管理者である県に要望。また減速対策として、警察への取締り強化およびパトロール強化を要望。

問 豪雪を受けて教訓を活かした対応マニュアルは出来たのか。【竹原集落生活改善センター】

行政 平成30年度道路雪対策基本計画を策定。主な改正点は、子どもの通学の実態に合わせ、歩道除雪の出動基準を15cmに改正。また、今年度初めて区長・業者・町による会議を開催し、様々な要望・提案で意思の疎通を図り、その中で第1種路線も見直した。今後ホームページなどにも掲載する。

問 消雪設備がある道路は除雪の対象にならないというが、消雪設備が想定効果を上げず今年の雪はとて大変だった。こうした大雪の場合は除雪対応も必要ではないか。

【下浄法寺ふれあい会館】

行政 消雪設備がある道路は、消雪ノズルなどを破損させてしまうことがあるため、基本的に機械除雪は行っていないが、豪雪等で圧雪がひどい状態や、ポンプ等の異常で水が出ていない時は、現場状況を確認し機械除雪を行う。

※紙面の都合上、掲載できなかった
質疑内容・回答はホームページほか、
役場本庁・永平寺支所・上志比支所
でご覧いただけます。

永平寺町議会

検索



議会・各委員会の議員出欠状況

平成30年9月25日～12月27日

議員名(議席番号順)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14		
	松川 正樹	上田 誠	中村 勘太郎	金元 直栄	滝波 登喜男	齋藤 則男	奥野 正司	伊藤 博夫	長岡 千恵子	川崎 直文	酒井 和美	酒井 秀和	朝井 征一郎	江守 勲		
出席回数	28.5	26	26	20.5	28	21	24	21	24	28	23.5	24	21	21		
会議回数	29	26	26	21	29	21	24	21	24	28	24	24	21	21		
出席率	98%	100%	100%	98%	97%	100%	100%	100%	100%	100%	98%	100%	100%	100%		
No.	日付	会議名	○…出席 ×…欠席 —…員外 △…遅・早 研…研修 傍…傍聴 吊…吊事													
1	9/25	決算審査(第1審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
2	9/27	決算審査(第1審議)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
3	10/2	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	研	○	○	—	傍		
4	10/5	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
5	10/5	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
6	10/12	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	傍	○	—	○	○	—	○		
7	10/12	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	傍		
8	10/16	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
9	10/16	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
10	10/23	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
11	10/25	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
12	11/7	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
13	11/14~	総務産業建設常任委員会視察	○	—	○	—	—	—	○	—	○	○	—	○		
14	~11/15	教育民生常任委員会視察	—	○	—	○	○	○	—	○	—	—	○	—		
15	11/26	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	△	○	○	○		
16	11/26	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
17	11/28	議会改革特別委員会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
18	12/3	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
19	12/3	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
20	12/3	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
21	12/10	本会議(一般質問1日目)	△	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
22	12/11	本会議(一般質問2日目)	○	○	○	△	○	○	○	○	○	○	○	○		
23	12/12	議会運営委員会	○	○	○	—	○	—	傍	—	—	○	—	傍		
24	12/12	本会議(一般質問3日目)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
25	12/12	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
26	12/12	議会広報特別委員会	○	—	—	—	×	—	○	—	○	○	—	傍		
27	12/14	総務産業建設常任委員会	○	—	○	—	—	傍	○	—	○	○	傍	○		
28	12/14	教育民生常任委員会	—	○	—	○	○	○	—	○	—	傍	—	傍		
29	12/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
30	12/20	本会議	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
31	12/20	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
32	12/27	議会広報特別委員会	○	—	—	—	○	—	○	○	○	○	—	傍		

議会活動レポート

Eiheiji town council activity report

ホームページ・facebookに
随時更新中!



10/15
福井しあわせ元気国体・
障害者スポーツ大会開会式



10/20
永平寺町秋浪漫



10/26 市町議会議員合同研修会



11/16 嶺北町村議会議長会研修



12/20 年末大掃除



1/6 永平寺町消防出初式



1/13 成人式

小学生が

地域を元気にする! 志比小学校6年生

3年前、10年ぶりに志比小学校に転任することとなりました。

10年前に比べ、児童数は80名減少していました。どうしてここまで児童数が減ってしまうのだろう。何かできることはないかを考えました。

そんな中、10年前、子どもたちと一緒に登った城山（波多野城がある山）に登山道が完成したという知らせが届きました。花谷の城山会が10年の時を経て念願の登山道を完成させてくださいました。これはもう、登るしかない! 登るだけでなく、校歌にも詠われているこの城山を、何とか子どもたちと一緒にPRできないだろうか。それがこの地域の元気につながるのではないだろうか。行動に移すことにしました。

この2年間で、城山会の方や地域の方と共に多くの活動を行ってきました。登山道の看板作り、永平寺町全体で行ったプランター作りのイベント、福井国体でのお披露目。子どもたちが考えた“城山活性化プラン”を提案し、登山道における施設の充実や甲冑行列&



京都市役所地下街 ゼスト御池

チャンバラ合戦の実現。たくさんの方の力を借りて、子どもたちの思いが実現できました。本当に「感謝」の気持ちでいっぱいです。

感謝の気持ちをどう返したらよいかを子どもたちと一緒に考えました。10月の修学旅行では、京都で初のPR活動に取り組み、城山のこと、永平寺町のことを中心に、劇で演じ、永平寺町のうた「いいのお、いいなあ」を披露しました。子どもたちは緊張しながら初めての地で、初めての人に囲まれながら見事PR活動を成し遂げました。

文化祭では、文化功労特別賞をいただき、身に余る思いです。自分たちが始めた活動を、今後は下級生が受け継ぎ、小学生が地域を元気に、地域のカンフル剤としてこれからも地域と共に歩む志比小学校でありたいと思います。(志比小学校6年担任 高橋直也)



城山学年登山

<がんばる団体募集中!!>

※詳しくは19Pをご覧ください

編集者のひと言

「議会だより」読んでますか?

恥ずかしながら過去の私は真剣に読んだ記憶がありません。10月の議会と語ろう会でのアンケート調査では参加者皆様の84%の方に読んでいただけいているという結果でした。誠にありがとうございます。

皆様とお約束します。今後とも議会だよりを魅力ある、意義のある、読みたくなる広報誌となるよう取り組んで参ります。そして「魅力ある議会」の構築に努めたいと思います。(酒井秀和 記)

議会広報特別委員会委員

委員長 奥野正司

副委員長 松川正樹

委員 滝波登喜男・長岡千恵子

川崎直文・酒井和美

酒井秀和

発行責任者

議長 江守勲